



2021年7月

本と読書

私の毎日読書

佐合 喜美代

担任していた子ども達には、折にふれ読書の大切さや楽しさを話し、毎日十分間読書の宿題を出しながら、私自身は、年に数冊の文庫本と小学校中学年向けのシリーズの本を読み切るくらいで、読書とはかけ離れた毎日を通っていました。

そんなある日、読書好きだった父が亡くなり仏間の本棚に並んでいる世界児童文学全集や伝記本を見る度に、父との本にまつわる思い出が甦ってきました。特に十歳の誕生日に『源義経』の本を人物像を詳しく説明しながら手渡してくれたことが思い出されます。

同じ頃、毎日必ず読書をするという先生に出会ったこともあって、自分の読書について反省してみました。半世紀近くも生きてきて読書の楽しさを十分に味わっていないのは損をした気分ではないのか、今までの読書量や限られたジャンルの読書では、脳がますます老化してしまうのではないか、くり返し読みたいとっておきの一冊に出会えていないではないか、などなど反省することばかりでした。兎にも角にも、もっと心と頭に栄養をつけよう、本の世界に没頭して私だけの楽しい時間を作ろうと、夜読書を毎日の日課にすることを決意しました。

決めたことを続けるにはどうしたらよいのか。読書感想文のようにまず本選びが大切だと思いました。続きが読みたくてたまらない本と

は・・・とつとり早く〇〇賞をとった本なら三日坊主の私でも眠気に勝って毎日取り組めると考えました。手始めに本屋大賞入選作品に挑戦しました。息子達がすすめてくれた『告白』『湊かなえ』『ぼうの城』『村上海賊の娘』和田竜、『サラバ!』西加奈子など全国の書店員さんが推す作品だけあって、毎日苦にならず本に向かうことができました。

もう一つ、夜読書を継続する為に試みたことは、周りの人におすすめるの本を尋ねること、すすめられた本は出来るだけ読んでみることで、感想を伝えることです。まずターゲットを司書の先生に絞って、最初にすすめられた本を読みました。『守り人シリーズ』上橋菜穂子に夢中になり全巻読破できました。文章表現の特徴やストーリー展開について司書の先生と語り合える時間も楽しく、読書の日常化を後押ししてくれました。

あれこれ策を練りながら、何とか毎日夜読書を続けていた昨年の秋の終わり、小学生の孫が「おばあちゃん、『銭天堂』読んだことある？すっごくおもしろいよ。読んでみて。」と久しぶりに本をすすめてくれました。今回は何だか熱が込もっています。友達にすすめられて一巻を読んだところ、大ハマリしたとのこと。実は私も、図書室でよく会う五年生の女の子から『銭天堂』をすすめられて十巻まで読み終わっていました。この本は、孫の小学校でも人気で順を追って借りられないので本屋さんで購入して読んでいること、クリスマスプレゼントに十四巻をお願いしていること、登場人物のことなど本の話で盛り上がり十一巻から貸し

てもらった約束をして別れました。後日、本を借りに行くと、頼んでいない二、五、七巻を「おすすめの話はこれだよ。読んでね。」という言葉と一緒に手渡ししてくれました。一日一話ずつ読み進めていると「もう読めた？次のおすすめがあるから頑張ってください。」と励ましの電話。一日三話に増やし読み終わるとやっと十一、十二巻を貸してもらえました。孫のおすすめの話を分析すると、駄菓子効果が作用して本人も周りの人も幸せになるハッピーエンドの話が好みようです。それを孫に伝えると、ハッピーエンドは心がほっこりするから好き。欲張ったり、自分のことしか考えてない話は嫌な気分になるので好きじゃないと話してくれました。マンガもゲームも大好きな孫ですが、本を通して孫と触れ合えたのは何より嬉しい驚きでした。可愛い孫との本談議は格別です。

数ページで寝落ちしてしまうこともありませんが、夜読書は当たり前の日常になりつつあります。今後は、実用書や文学史に残る名作などにも挑戦できたらと思っています。また、いろんな人や孫たちとの読書交流も続けていきたいです。

今日も夜読書で、本の森をさまよい歩き眠りにつこうと思います。

佐合喜美代さんは現在も小学校でご活躍です。

☆図書館クイズ☆

絵本「はらぺこあおむし」から問題

はらぺこあおむしがお腹が痛くなった時に食べたものはなんでしょう？

- ① 水
- ② 正露丸
- ③ 葉っぱ

読み聞かせには行けないけれど

私は蜂屋小学校で読み聞かせボランティアをしている、「ぶんぶん」というグループに入っています。読み聞かせをすることは、子どもたちも私たちにとっても、とても楽しみな時間でした。しかし、コロナ感染症が広がり、読み聞かせが行えない状況になってしまいました。私は小学校の前を通るたびに、何かできることはないかと思い悩んでいました。

そんな時、三和小学校の読み聞かせボランティア「ほたるん」さんが、おすすめの絵本をメッセージカードにして小学校に贈り、子どもたちがとても喜んでいてという記事を目にし、「これだ!」と思いました。

『ぶんぶん冬のおすすめの本』のメッセージカードを作りたいとメンバーに提案すると、「ぜひやりたい!」「素敵な企画!」と嬉しい反応が次々と返ってきました。皆さんも私と同じ「何かしたい」という気持であったことが分かり、胸が温かくなりました。お

父さんの読み聞かせグループ

『おやじぶんぶん』にも協力してもらい、おすすめの絵本と子ども達への思いが記入されたカードを、クリスマスツリーをイメージしてボードに貼り、図書館に掲示してもらいました。



蜂屋小
ぶんぶん・
おやじぶんぶん

学校司書の先生がカードに合わせた絵本を集めて『ぶんぶんコーナー』を設けて下さり、子ども達はとても喜んで、カードを読んだ

り、本を借りてくれたそうです。また、一冊の絵本をページごとにメンバーで分担し、それぞれが担当ページを読んだ動画を繋いだ、『読み聞かせ動画』も作りました。学校で全校児童に見てもらったら、大変喜ばれお礼の手紙まで頂きました。

子どもたちの前で表情を見ながら読み聞かせができるのが一番ですが、コロナ禍で制限のある時でも気持ちを届けることができたいのは嬉しい限りです。『ぶんぶん』だからできたことだと思えます。子どもたちの笑顔を想像しながら、季節に合わせた『おすすめ絵本ボード』と『読み聞かせ動画』の第二弾を制作中です。

これからも読み聞かせの枠にとられず、子どもたちに絵本を通して楽しい時間をプレゼントできる読み聞かせグループでありたいと思います。

☆図書館クイズの答え☆ ③葉っぱ

みんな大好き エリックカールさん、素晴らしい作品の数々をありがとう!

「どうぶつがっこう」トビイ ル/作 PHP 研究所

¥1,210+税



『どうぶつがっこう』ってどんな学校? 先生は色々な動物たち、生徒は人間の子どもたち。「自分」を「研究」する場所です。自分の好きなこと、得意なこと、面白いことを発見するために体と心をつかって「観察」や「実験」を繰り返します。さあ、みなさんも『どうぶつがっこう』に入学してみませんか?



C.H

「すいかのたね」さとうわきこ/作 福音館書店 ¥743+税



ばばあちゃんが庭にすいかのたねをまいたんだ。何かいいものを隠したとかん違いたこねこやこいぬ、うさぎやきつねなどに次々と掘り返されてついに怒ったすいかのたねは...!! さて、どんなゆかいな結末がまっているのでしょうか。



M.O

この本
読んでみて!

「子どもは「親の心配」をランドセルに入れて登校します」

桑原朱美/著 WAVE 出版 ¥1,500+税



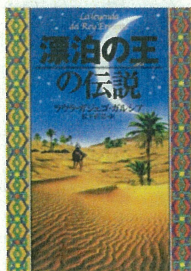
養護教員として多くの親子に接してきた著者が、脳科学を学び「親の無意識の習慣が、子どもの人格を作る。」と実感し、どうすればよいのかを具体的に書かれています。まずは親自身が縛られている無意識の習慣に気づき、幸せを感じれば、子どもが変わります。



KA

「漂泊の王の伝説」 偕成社

ラウ・ガジゴ・ガル/作 ¥1,500+税



砂漠の王国キンダの王子ワリードが、若き日に起こした過ちを悔み、償い、新しい人生を歩んでいくまでの物語。「嫉妬」が引き起こした罪と悔悛の物語。運命は変えることができる。愛の力と意志の力で。読み始めたら止まりません。「本は友達6年生」の本です。



Y.H

このコーナーで本を紹介しているのは、市内の学校司書3人と東図書館司書です。